

「NAGANO Ablation Symposium 2017」報告

長野県臨床工学技士会後援の「NAGANO Ablation Symposium 2017」が開催されましたのでご報告いたします。

報告者 北信地区理事 有賀陽一

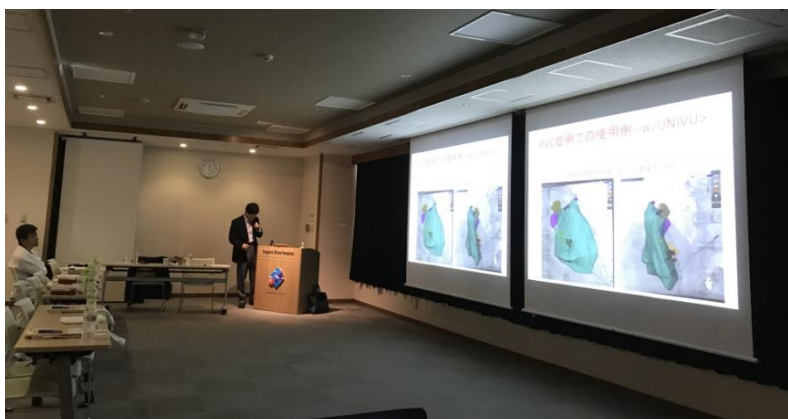
日時：平成 29 年 11 月 18 日（土）9:30～17:00

場所：長野中央病院研修ホール

参加人数：70 名（臨床工学技士参加：県内 8 名、県外 14 名）

内容：

2 症例のカテーテルアブレーションを行いました。1 例目が期外性心室頻拍（PVC）に対して、福井大学医学部付属病院の冨田浩先生、鮎野健一先生が行い、2 例目が持続性心房細動に対して獨協医科大学越谷病院の中原志朗先生、福田怜子先生が行い、2 例とも成功で終了しました。昨年につき、群馬県立心臓血管センターの内藤滋人先生に座長を務めていただきました。2 例目の症例では、獨協医科大学越谷病院臨床工学技士の渡邊哲広技士がカルトシステムのオペレーターとして、術者の中原先生と連携し治療にあたっている様子は、参加された医師からも、高く評価されカテーテルアブレーションにおいて臨床工学技士の重要性がクローズアップされました。このシンポジウムも今回で 4 回目の開催となり、医師の手技だけでなく、臨床工学技士・看護師等のチーム医療の必要性も年々増しています。



NAGANO
Ablation
Symposium
2017